33 01 04 01 05 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	乳幼児健康支援事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3350
第2次総合計画 行政分野別 大項目	200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
第2次総合計画 行政分野別 中項目	200002 健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令個別計画等	母子保健法 深谷市乳幼児健康支援事業実施要綱				
第2次総合計画 行政分野別 小項目	200001 健康づくりの推進						

事業概要	本事業は、母子保健に関する各種の健康診査、発育発達相談などを総合的に行い、乳幼児の発育発達異常や疾患の早期発見、早期療育を目指し、乳幼児及び保護者の健康の保持増進を図るものである。
目的 ※何のために	乳幼児の健康の保持増進を図るため
対象 ※誰・何を対象に	就学前の子どもとその保護者
手段 ※どのように	各種健康診査、発育発達相談、親子教室等を実施する。
成果 ※何を求めるか	乳幼児の健康の保持増進を図るため、就学前の子どもとその保護者を対象に各種健康診査、発育発達相談、親子教室等を実施することにより、乳幼児期における発育発達異常や疾患の早期発見・療育に繋がる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　■ その他（ 医師等 ）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	05	母子保健費	乳幼児健康支援事業	17,503,529
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ ４か月児健康診査	・ 乳幼児相談
・ １歳６か月児健康診査	・ 子育て応援教室
・ ３歳児健康診査	・ 訪問指導
・ 親子教室	・
・ 母子ケース検討会議	・
・ 発育発達相談	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	17,635,000	19,872,000	19,495,000	20,794,000	22,473,000	
	決算額	15,447,359	17,514,225	17,503,529	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	15,447,359	17,514,225	17,503,529	20,794,000	22,473,000	
人件費	従事職員数（人）	3.57	3.95	5.71	3.40	3.40	
	人件費相当試算 ※1	27,771,030	30,738,900	46,279,550	27,703,200	27,703,200	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		43,218,389	48,253,125	63,783,079	48,497,200	50,176,200	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	乳幼児健診実施回数	目標値	回	116.00	116.00	116.00	116.00	116.00	116.00	□
			実績値		116.00	116.00	116.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		適切な時期に健診を実施するため、年１１６回を各年の目標値として設定している							
		実施回数									
□	活動指標２	親子教室・発育発達相談事業開催回数	目標値	回							■
			実績値		113.00	120.00	118.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		発育発達に不安のある乳幼児に必要な相談の場であり、目標値の設定はできない							
		実施回数									
□	成果指標１	相談事業来所者数	目標値	人							■
			実績値		376.00	404.00	440.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		発育発達に不安のある乳幼児に必要な相談の場であり、目標値の設定はできない							
		親子教室・発育発達相談等実績値									
■	成果指標２	乳幼児健診の平均受診率	目標値	%	98.60	98.70	98.80	98.90	99.00	99.10	□
			実績値		96.70	98.40	97.90	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		受診率の向上を目指すため、目標値として設定している							
		受診者数／対象者数									
■	成果指標３	乳幼児健診後、要精密検査者の受診率	目標値	件	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		89.20	73.80	92.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		受診率の向上を目指すため、目標値として設定している							
		要精密検査者の精検受診率									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 乳幼児健診、発育発達相談は予定通り実施できたが、親子教室は新型コロナウイルス感染防止のため、３月の実施を中止した。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 乳幼児健診の平均受診率はやや減少したが、要精密検査者の受診率は、個別の受診勧奨により向上した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	第一係長　吉野真弓　第二係長　小井土和美

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	乳幼児健診未受診児の中には虐待のリスクの高い家族など支援の必要な家庭が含まれているため、関係機関と連携し、乳幼児健診未受診児全数把握に努める。
達成状況 及び その効果	乳幼児健診未受診児には、手紙による受診勧奨や家庭訪問、保育園等の入園確認などを実施し、すべての対象児を把握することができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	乳幼児健康支援事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3350

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

乳幼児健診対象児の全数把握を実施できた。乳幼児健診では、育児相談など、成長過程に沿った切れ目ない支援を実施している。また、未受診児対策は、虐待のリスクの高い家族なども含まれることから、関係機関やこども青少年課と連携し、全ての対象児を把握することに努めている。

評価者	保健センター所長　野口　加代子

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

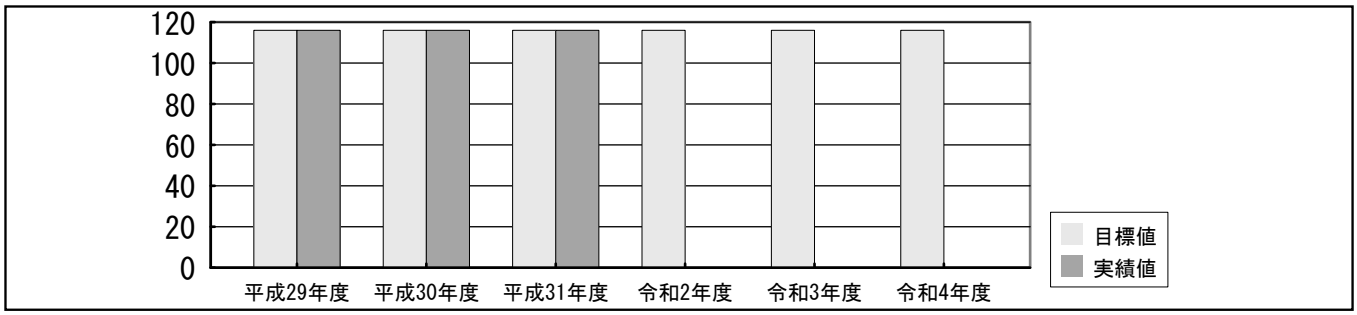
改善・改革案	乳幼児健診を受診することにより、虐待の発見や虐待リスクの高い家族などを把握することができることから、未受診児の把握は重要であり、関係機関と連携し、乳幼児健診未受診児の全数把握に努める。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

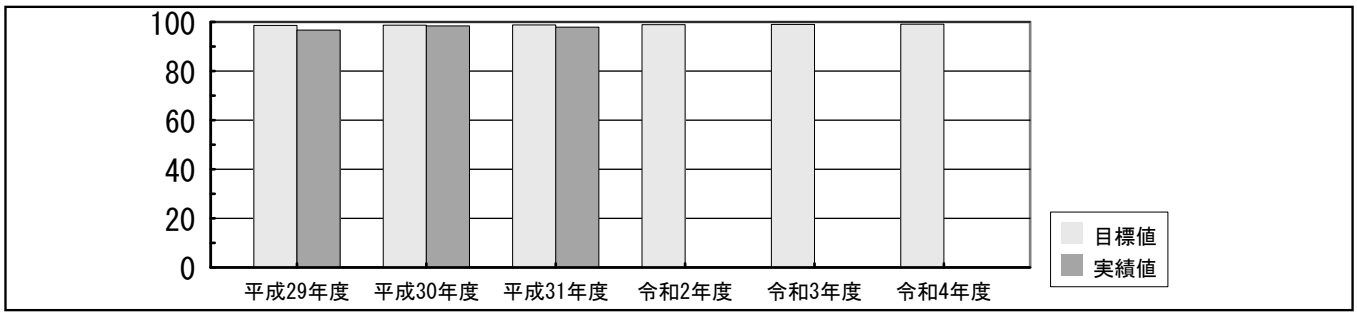
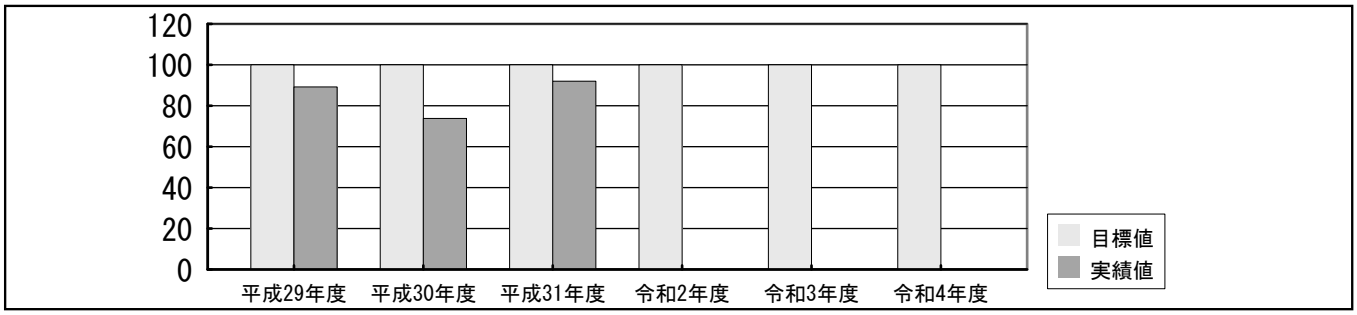
今後の課題	要精密検査児の精検受診率は、３歳児健診で低くなる傾向があるため、今後も健診時に精密検査の受診の必要性を説明し、受診勧奨していく。また、受診率向上につながる効果的な方法を検討する。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	乳幼児健診実施回数



区分	成果指標２	指標名	乳幼児健診の平均受診率



区分	成果指標３	指標名	乳幼児健診後、要精密検査者の受診率